

Essential屋内用力メラ ユーザーマニュアル



1.	カメラについて	5
	正回囚と月回囚	5 5
	ノノイバノーノールト $Arlo Secureアプリを入手する$	
	Arloを最大限に活用する	6
2.	はじめに	7
	Arlo Secureアプリでセットアップを行う	7
	カメラに適した場所を探す	7
	屋内でカメラの電源を入れる	8
	LEDを確認する	8
	カメラの壁面への設置	9
	動作検知のテスト	
3.	Wi-Fiセットアップおよび接続	12
	Wi-Fi接続のオプション	12
	Wi-Fiパフォーマンスを最適化するためのヒント	12
	セットアップ中にモバイルデバイスを2.4 GHz Wi-Fiネットワークに接線	売する 13
	カメラのWi-Fi接続をSmartHubまたはベースステーションに移動する…	
	カメラのWi-Fi接続をルーターの直接接続に移行する	
4.	Essential屋内用カメラを使用する	17
	プライバシーシールド	
	プライバシーシールドを閉じる	
	カメラフィードの表示	
	ライブビデオからクリップを録画する	
	ライブビデオからスナップショットを撮影する	
	動作検知アクティビティゾーン	
	双方向音声機能	
	カメラの警報音を手動でオン/オフする	
	録画とスナップショットを見る	

5.	Arloアカウントにアクセスする 2段階認証	27
	顔認証または指紋認証を使用する	
	プロファイルのカスタマイズ	
	Arloパスワードの変更	
	忘れたパスワードのリセット	
	友人にアクセス権を付与する	31
6.	モード、ルール、アラート	34
	モードの選択	
	すべてのテハイスを警戒モードまたは侍機モードにする	
	モートのルール	
	割作検知の感受を変更9る	
	カイフの言報を有効にするルールを使用する	
	カフタムモードの追加 カフタムモードの追加	
	オプションのSmartHubまたはベースステーションに接続された屋外田力	J7
	メラのみを警戒モードにする	
	アラートを管理する	
	通知をミュートする	40
	カメラが警戒モードになるタイミングのスケジュール設定	41
	Arloジオフェンスをセットアップする	42
	複数のモバイルデバイスでジオフェンスを使用する	
7.	設定を変更する	46
	カメラ設定	46
	タイムゾーンを変更する	47
	ビデオ設定	47
	音声の設定を調整する	
	ちらつき設定を調整する	
	Essential屋内用カメラのオン/オフの切り替え	
	Arlo Secureアブリからカメラを再起動する	
	アハイ人情報を確認する	
	アカワントからナハイ人を削除する	
	SmartHubおよひペース人テーションのオフションの設定	

8.	SmartHubのSDカードストレージ	52
	microSDカードの挿入	
	SDカードのステータスの表示	53
	利用可能なSDカードストレージの表示	53
	SDカードへの録画のオン/オフ切り替え	53
	[高品質ローカル録画] をオンにする	54
	SDカード上書き設定の変更	54
	microSDカードのフォーマット	54
	SDカードを安全に取り出す	55
	microSDカードのビデオの表示	55
9.	SmartHubまたはベースステーションの	
	USBストレージ	57
	USBストレージデバイスのステータスを表示する	
	利用可能なUSBデバイスストレージの表示	
	USB録画のオン/オフの切り替え	
	USBデバイスの上書き設定を変更する	
	USBデバイスのフォーマット	
	USBストレージデバイスの安全な取り外し	60
	USBデバイスのビデオの表示	60
10.	トラブルシューティング	62
	セットアップ中にQRコードをスキャンする	
	セットアップ中にArloでカメラが検出されない	63
	Arloジオフェンスのトラブルシューティング	63
	ブラウザーでビデオストリームを見ることができない	64
	Wi-Fi信号の干渉	65
	カメラを工場出荷時の設定にリセットする	67
11.	Arlo Connect	68
	Amazon AlexaでArloを使用する	
	ArloをAppleのホーム Appに追加する	
	カメラをGoogleアシスタントアプリに接続する	71
	IFTTTでArloを使用する	72

1. カメラについて

外出中は自宅を守り、在宅時はプライバシーを守ります。Arlo Essential屋内用カメラは 1080pのビデオを撮影し、Arlo Secureアプリで制御できる自動プライバシーシールドで プライバシーを保護します。動作アラートを受信し、双方向音声を使用して、訪問者と 会話をすることができます。カメラは棚の上などの水平な場所や、マウントキットを使 用して壁面に設置することができます。



Arlo Secureアプリを使用して、プライバシーシールドを開閉します。



Arlo Secureアプリを入手する

Arlo Secureアプリをダウンロードします。このアプリを使用すると、クラウドでArloア カウントを作成し、すべてのArloデバイスを設定して管理できます。



メモ: Arlo Secureアプリを既に使用している場合は、 必ず最新バージョンを使用していることを確認してく ださい。アップデートがあるかどうかは、アプリスト アにアクセスして「Arlo Secure」を検索すると確認で きます。

特長

- フルHDで細部まできれいに捉えます。鮮明な画像を得るために、1080pでビデオを 録画できます。
- **プライバシーを保護します**。自動プライバシーシールドを閉じることで、必要なときにプライベートな時間を確保できます。
- **動作や音声の検知時にアラートを受信できます**。通知は直接、スマートフォンに送信されます。
- **夜間は光がなくても見ることができます**。白黒の夜間撮影機能は、暗くなると自動 的にオンになります。
- 訪問者とクリアに音声通話できます。アプリでボタンをタップして、双方向音声機 能を使用できます。
- 広い視野角で対象物を常に監視します。130°の視野角で、より広い範囲を撮影できます。
- **手のひらでできるセキュリティ**。Arlo Secureアプリを使用して、スマートフォンや タブレットでライブストリーミングや録画したビデオを見ることができます。
- より迅速に措置を講じることができます。カメラが人、荷物、乗り物、動物を検知したときに、Arlo Secureで通知を受け取ることができます¹。
- 内蔵の警報音で侵入者を撃退します。内蔵の警報音が手動または自動で起動するようにArlo Secureアプリから設定します。

Arloを最大限に活用する

- Arloカメラとデバイスの追加。カメラやセキュリティライトなどを追加することで、家の中や周辺のさらに広い範囲をカバーできます。
- Arloサブスクリプションのアップグレード。詳細については、「Arloサブスクリプションプランとクラウド録画の容量について教えてください。」を参照してください。

¹ 一部の国ではArlo Secureサービスはご利用できません。詳細については、www.arlo.com/ArloSecureを参照してください。

2. はじめに

在宅時はプライバシーを守り、外出先では自宅を守ります。Arlo Essential屋内用カメラ は1080pのビデオを撮影し、Arlo Secureアプリで制御できる自動プライバシーシールド でプライバシーを保護します。動作アラートを受信し、双方向音声を使用して、訪問者 と会話をすることができます。

Arlo Secureアプリでセットアップを行う

無料のArlo Secureアプリのガイドに従ってインストールとセットアップを行います。

Arlo Secureアプリを開き、Wi-Fiネットワークに接続します。
 アプリを持っていない場合は、アプリをダウンロードし、Arloアカウントを作成します。

Arloアカウントを設定すると、スマートフォンやタブレットのArlo Secureアプリ、 またはPCのWebブラウザーを使用してArloアカウントにアクセスできます。PCを使 用している場合は、ブラウザーのアドレス欄に「https://my.arlo.com/#/login」と入 力します。

2. [デバイスの追加] をタップします。

メモ:オプションのArlo SmartHub (別売り)を使用している場合は、[ベースステー ション/Hub]をタップします。カメラを接続する前に、指示に従ってSmartHubまたはベースステーションをセットアップします。セットアップが完了すると、カメラをSmartHubまたはベースステーションに接続できるようになります。

3. [カメラ] を選択し、指示に従ってEssential屋内用カメラをセットアップします。

カメラに適した場所を探す

カメラの広い視野角を最大限に活用するために、見晴らしが良い設置場所を選択しま す。最適な動作をさせるには、強いWi-Fi信号がある場所を選択します。Arlo Secureア プリで、Wi-Fi信号の強度を確認できます。

屋内でカメラの電源を入れる

Essential屋内用カメラは、USBケーブルと5V2A電源アダプターを使用する有線製品で す。micro USBケーブルと電源アダプターは、カメラに同梱されています。ケーブルと 電源アダプターは屋内専用です。



- 1. micro USB充電ケーブルをカメラに接続します。
- 2. 充電ケーブルのもう一方の端を電源アダプターに接続し、電源コンセントに差し込みます。

LEDを確認する

Essential屋内用カメラのLEDが点灯し、カメラのステータスを示します。カメラの電源 を最初オンにすると、LEDが青色に短時間点灯します。



セットアップ中のLEDの動作

- ゆっくり青点滅。カメラはWi-Fiネットワークとペアリング中です。
- **すばやい青点滅**。カメラがWi-Fiネットワークとペアリングされました。
- オレンジ色でのゆっくりとした点滅。セットアップエラーが発生しました。ヘルプ については、10.トラブルシューティング (62ページ)を参照してください。

セットアップ後のLEDの動作

• **すばやい青点滅**。カメラは工場出荷時の状態にリセットされました。詳細について は、カメラを工場出荷時の設定にリセットする (67ページ) を参照してください。

- オレンジ点灯。インターネット接続エラーが発生しました。Wi-Fiルーターがインタ ーネットに接続されており、カメラがWi-Fiネットワークに接続されていることを確 認してください。
- **青とオレンジが交互に点灯**。ファームウェアのアップデート中です。

カメラの壁面への設置

Essential屋内用カメラは、棚の上などの水平な場所に設置することも、壁掛け用マウン トキットを使用して壁面に設置することもできます。カメラには、マウントとネジキッ トが付属しています。

メモ: カメラを初めて設置するときは、Arlo Secureアプリの指示に従う必要があります。設置中にArlo Secureアプリから指示されるまで、カメラの取り付けを開始しないでください。

Essential屋内用カメラを取り付けるには、次のものが必要です。

- 15/64 インチ (6 mm) ドリルビットの電動ドリル
- ・ プラスドライバー
- 鉛筆(オプション)
- ・ カメラに付属の壁掛け用プレートおよびネジキット

カメラを壁面に設置するには、次の手順に従います。

- 1. カメラを取り付ける壁に、カメラに付属の壁掛け用プレートを取り付けます。
- 2. 鉛筆を使用して、壁掛け用プレートの2つの穴の位置をマークし、壁掛け用プレートを取り外します。
- 3. 15/64 インチ (6 mm) ドリルビットを使用して、壁に2つの穴を開けます。
- 4. 壁掛け用プレートを壁に戻し、穴に合わせます。
- 5. 壁掛け用プレートを所定の位置に固定したまま、プラスドライバーを使用してそれ ぞれの穴にネジを固定します。 乾式工法壁にカメラを取り付ける場合は、弊社が提供する乾式工法壁用アンカーを 使用します。



- 6. カメラを壁掛け用プレートに合わせ、カメラを壁掛け用プレートに押し込みます。
- 7. カチッという音が聞こえるまで、カメラベースを下にスライドさせます。



- 8. カメラの電源を入れます。
- 9. 傾けて回転させ、カメラの角度を調整します。



メモ: Essential屋内用カメラを取り外すには、カチッという音が聞こえるまでカメラを 上にスライドさせ、カメラを壁掛け用プレートから引き出します。

動作検知のテスト

動作検知テストを使用して、カメラに適した動作検知の感度設定を見つけることができ ます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラを選択します。
- 4. [デバイスユーティリティ]>[動作検知テスト] をタップします。
- 5. カメラの前面に移動します。 このテスト中は、動作検知時に、LEDがオレンジ色で点滅します。

- スライダーを動かして、必要に応じて動作検知感度のレベルを調整します。
 この動作検知の感度設定は、動作検知テスト中に使用されます。カメラを警戒モードにするモードで使用されるカメラルールに自動的に適用されるわけではありません。テストで特定の動作検知の感度レベルに問題がない場合は、ルールに追加できるように設定をメモします。
- 7. カメラのルールを編集して、使用する動作検知感度レベルを入力します。

3. Wi-Fiセットアップおよび接続

カメラを設置してセットアップするとき、カメラをルーターの2.4 GHz Wi-Fiネットワー ク、あるいはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーションに接続する手順が Arlo Secureアプリで案内されます。

Wi-Fi接続のオプション

カメラを設置するときは、ルーターの2.4 GHz帯に直接接続することも、Wi-FiでArlo SmartHub VMB5000またはVMB4540、あるいはArloベースステーションVMB4500また はVMB4000に接続することもできます。

Arlo SmartHubおよびベースステーションは、カメラに同梱されていません。これらは 別売です。カメラをSmartHubまたはベースステーションとともに使用すると、次の追 加機能にアクセスできます。

- VMB5000 SmartHub内のSDカード上、あるいはSmartHub VMB4540またはベースス テーションVMB4500/VMB4000に接続されているUSBストレージデバイス上のロー カルストレージを使用する。
- SmartHub VMB5000およびVMB4540の直接ストレージアクセスを使用する。

カメラを設置してセットアップした後は、カメラのWi-Fi接続をルーターからSmartHub またはベースステーションに移動できます。カメラのWi-Fi接続をSmartHubまたはベー スステーションから移動し、ルーターの2.4 GHz帯に直接接続することもできます。こ れを行うには、デバイスをアカウントから削除し、Arlo Secureアプリを通じて、双方 に移動するための適切なオプションを選択してデバイスを再インストールする必要があ ります。

Wi-Fiパフォーマンスを最適化するためのヒ ント

Wi-Fiデバイス間の距離は、Wi-Fi信号に影響を与える可能性があります。

最大推奨距離。Wi-Fiルーターはカメラから90m以内に設置することをお勧めします。使用できる距離はカメラとルーター間に存在する壁や天井、または金属製のドアなどの障害物によって短くなります。

• 最小推奨距離。Wi-Fi干渉を低減するには、カメラと、設置したArloカメラは2 m以 上離すようにしてください。

次の素材は、Wi-Fiデバイスの間に配置すると、Wi-Fi信号の強度を低下させる場合があります。

- 厚い壁や天井
- ・ レンガ
- コンクリート
- 岩
- セラミック
- ガラス、鏡
- 金属
- ・ 大量の水(水槽や貯水タンクなど)

セットアップ中にモバイルデバイスを 2.4 GHz Wi-Fiネットワークに接続する

カメラをルーターのWi-Fiネットワークに直接接続する場合は、セットアップ中にモバ イルデバイスをカメラと同じWi-Fiネットワークに接続する必要があることを理解して おくことが重要です。

カメラは、2.4 GHz Wi-Fiネットワークにのみ接続できます。多くのルーターは、2.4 GHz帯と5 GHz帯の両方でWi-Fiネットワークをブロードキャストするため、スマートフ ォンが5 GHz帯に接続されている場合があります。セットアップ中に、スマートフォン を2.4 GHz Wi-Fiネットワークに接続し、カメラを同じ2.4 GHz Wi-Fiネットワークに接続 してください。

2.4 GHz Wi-Fiネットワーク名とパスワードを見つける

スマートフォンはほとんどの場合、5 GHz Wi-Fiネットワークに接続されます。2.4 GHz Wi-Fiネットワークを見つける方法が分からない場合は、次のように対処します。

- Wi-Fiルーターのラベルを確認します。 多くのルーターには、Wi-Fiネットワーク名 (SSIDとも呼ばれます)を示すラベルが付いています。2.4 GHzのネットワーク名の末尾は、通常2、2.4、または2Gとなっています。5 GHzのネットワーク名の末尾は、通常5または5Gとなっています。Wi-Fi設定を変更した場合は、カスタム設定を保存した場所を確認してください。
- Wi-Fiネットワーク名またはSSIDが2.4 GHzまたは5 GHzのどちらであるかを示してい ない場合は、インターネットサービスプロバイダー (ISP)、またはWi-Fiルーターを設 定した担当者にお問い合わせください。

 メッシュWi-Fiネットワークを使用している場合は、両方のWi-Fi周波数に1つのWi-Fi ネットワーク名のみが使用されます。カメラが、2.4 GHz Wi-Fi帯を探して接続しま す。同じメッシュネットワークにスマートフォンを接続している限り、Arloはカメ ラを検出できます。

iOS (Apple) デバイスを2.4 GHzネットワークに接続する

- 1. デバイスのロックを解除して、[設定]をタップします。
- 2. 設定オプションのリストの上部にある [Wi-Fi] をタップします。
- 3. 画面上部の [Wi-Fi] の横にあるスイッチをタップして、Wi-Fiをオンにします。 メモ: Wi-Fiはスイッチが緑色になると有効になります。
- 2.4 GHz Wi-Fiネットワークを選択します。
 2.4 GHzネットワークは通常、ネットワーク名の末尾が2、2.4、または2Gとなっています。
- 5. ネットワークパスワードの入力を求められたら、これを入力します。 Wi-Fiネットワークに接続すると、ネットワーク名の左側に青いチェックマークが表示されます。

Androidデバイスを2.4 GHzネットワークに接続する

- 1. デバイスのロックを解除して、[設定]をタップします。
- 2. [ネットワークとインターネット] > [Wi-Fi] をタップします。
- 3. 画面上部の [Wi-Fiの使用] をタップしてWi-Fiをオンにします。
- 2.4 GHz Wi-Fiネットワークを選択します。
 2.4 GHzネットワークは通常、ネットワーク名の末尾が2、2.4、または2Gとなっています。
- ネットワークパスワードの入力を求められたら、これを入力します。
 Wi-Fiネットワークに接続しているときは、ネットワーク名の下に [接続済み] と表示 されます。

カメラのWi-Fi接続をSmartHubまたはベー スステーションに移動する

カメラのWi-Fi接続をルーターからArlo SmartHub VMB5000またはVMB4540、あるいは ArloベースステーションVMB4500またはVMB4000に変更できます。

SmartHubまたはベースステーションを追加してカメラを接続するには、次の手順に従います。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- SmartHubまたはベースステーションを、カメラが最初に接続されたArloアカウント と同じArloアカウントに追加します。
 トライアルでArloサブスクリプションをこのアカウントに関連付けている場合、こ れを行うことでトライアルのアクティブ状態が維持されます。
- 3. Arlo Secureアプリの指示に従って、SmartHubまたはベースステーションを設定し、 インターネットに接続します。
- 4. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 5. カメラを選択します。
- 下にスクロールして、[デバイスを取り外す]をタップします。
 デバイスがリセットされ、アカウントから削除されます。
- 7. [マイ デバイス] から、[新しいデバイスの追加] > [カメラ] > [Essential] をタップし ます。
- 8. Arlo Secureアプリの指示に従って、カメラを追加します。
- 9. Arlo SecureアプリでSmartHubまたはベースステーションが検出されたら、指示に 従ってカメラをSmartHubまたはベースステーションに接続します。

カメラのWi-Fi接続をルーターの直接接続に 移行する

カメラのWi-Fi接続をVMB5000、VMB4540、VMB4500、VMB4000 SmartHubまたはベ ースステーションから変更し、カメラをルーターの2.4 GHz Wi-Fiネットワークに直接接 続できます。

カメラのWi-Fi接続をルーターに直接移動するには、次の手順に従います。

- Arlo Secureアプリを起動し、カメラの接続先と同じArloアカウントにログインします。
 このアカウントに関連付けられているトライアルArloサブスクリプションを使用している場合、これを行っても、トライアルはアクティブの状態が維持されるため、トライアルを失うことはありません。
- モバイルデバイスがルーターの2.4 GHz Wi-Fiネットワークに接続されていることを 確認します。
 詳細については、セットアップ中にモバイルデバイスを2.4 GHz Wi-Fiネットワークに接 続する (13ページ) を参照してください。
- 3. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 4. カメラを選択します。
- 5. 下にスクロールして、[**デバイスを取り外す**]をタップします。 デバイスがリセットされ、アカウントから削除されます。
- 6. [デバイス]をタップし、[新しいデバイスの追加]をタップします。
- 7. Arlo Secureアプリの指示に従って、カメラを2.4 GHz Wi-Fiネットワークに直接接続します。

4. Essential屋内用カメラを使用する

Arlo Secureアプリを開くと、[デバイス]ページにカメラフィードが表示されます。



カメラア イコン	各カメラフィードの下に表示
(î	Wi-Fiルーター、SmartHub、またはベ ースステーションからのWi-Fi信号
4	音声検知がオン
-	動作検知がオン
\$	カメラ設定を表示または変更する

カメラフ ィードア イコン	カメラフィードをタップして、次の アイコンを表示
\mathbf{b}	再生/停止
•	消音する
Ų	双方向音声機能
	ビデオを手動で録画する (クラウドストレージが必要)
0	スナップショットを撮影する (クラウドストレージが必要)

プライバシーシールド

より高いレベルのプライバシーを確保するために、Essential屋内用カメラにはプライバシ ーシールドが内蔵されています。プライバシーシールドは、カメラが待機モードになる と自動的にカメラレンズを覆い、カメラが警戒モードになると開きます。プライバシー シールドを閉じると、動作検知、音声検知、およびカメラのマイクがオフになります。



カメラが待機モードのときにライブストリームを行う場合、Arloアカウントのパスワードを入力するか、顔認証(該当する場合)または指紋認証(該当する場合)を行う必要があります。これにより、プライバシーを保護するための追加のセキュリティ層が提供されます。

プライバシーシールドを閉じる

Arlo Secureアプリでモードを使用するか、カメラのオン/オフを切り替えることで、プ ライバシーシールドを開閉できます。指でプライバシーシールドの開閉をしないでくだ さい。

待機モードを使用してプライバシーシールドを閉じる

カメラを待機モードにしてプライバシーシールドを閉じるには、次の手順に従います。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [モード]をタップします。
- お使いのEssential屋内用カメラを選択します。
 モードのリストが表示されます。
- 4. [待機]をタップします。

カメラが待機モードになって、プライバシーシールドがカメラレンズを覆います。

オプションのSmartHubまたはベースステーションを使用 する場合にプライバシーシールドを閉じる

使用中のSmartHubまたはベースステーションを警戒モードまたは待機モードにする か、そのSmartHubまたはベースステーションに接続されているすべてのカメラを警戒 モードまたは待機モードにします。Essential屋内用カメラのみを待機モードにしたい が、SmartHubまたはベースステーションの他のカメラを警戒モードにしたままにした い場合は、次のいずれかの方法を使用できます。

他のカメラが警戒モードのままプライバシーシールドを閉じるには、次の手順に従い ます。

 Essential屋内用カメラをWi-Fiルーターに直接接続します。カメラをWi-Fiルーター に直接接続すると、Essential屋内用カメラを個別に警戒モードまたは待機モードに できます。カメラ接続をWi-Fiルーターに移動する方法については、カメラのWi-Fi接 続をルーターの直接接続に移行する (15ページ)を参照してください。

メモ: カメラをWi-Fiルーターに直接接続すると、そのカメラのビデオをSmartHub またはベースステーションに挿入されているUSBストレージデバイスに保存することはできません。

- Essential屋内用カメラをオフにします。Arlo Secureアプリでカメラの電源をオフに すると、カメラが待機モードになって、プライバシーシールドが閉じます。カメラ フィードの下にある [メニュー] ---- アイコンまたは [デバイス設定] アイコン
 な をタ ップして、カメラの電源をオフにします。
- カスタムモードを作成します。SmartHubまたはベースステーションのすべての屋 外用カメラを警戒モードにしたままEssential屋内用カメラを待機モードにする、新 しいモードを作成できます。詳細については、オプションのSmartHubまたはベース ステーションに接続された屋外用カメラのみを警戒モードにする (38ページ)を参照 してください。

CVRを使用する場合にプライバシーシールドを閉じる

連続録画 (CVR) はオプションのサブスクリプション機能で、カメラの設定モードに 関係なく、カメラで常にビデオを録画できます。つまり、CVRが有効になっている間 は、Essential屋内用カメラのプライバシーシールドが開いたままになります。カメラを 待機モードにすると、動作検知および音声検知の通知が無くなりますが、カメラは録画 を継続します。録画を停止してプライバシーシールドを閉じるには、Arlo Secureアプ リを開き、カメラフィードの下にある [メニュー] --- アイコンまたは [デバイス設定] ア イコン ♀ をタップして、カメラの電源をオフにします。

カメラフィードの表示

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- カメラフィードで [再生] をタップします。
 カメラフィードが更新され、カメラフィードアイコンが表示されます。

メモ: カメラが待機モードでプライバシーシールドが閉じている状態でライブスト リームを行う場合、Arloアカウントのパスワードを入力するか、顔認証(該当する場 合)または指紋認証(該当する場合)を行う必要があります。これにより、プライバ シーを保護するための追加のセキュリティ層が提供されます。

3. ライブフィードの視聴を停止するには、[停止]
をタップします。

ビデオのパン/ズーム

ビデオフィードはパンおよびズームできます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- カメラフィードで [再生] シ をタップします。 モバイルデバイスでは、ピンチジェスチャーを使用してズームし、ズームインした フレームをタッチアンドドラッグして移動します。
 コンピュータ上で、ダブルクリックしてズームします。ズームインしたフレームを 左クリックしたままドラッグして移動します。
 ズームインすると、画像が停止して約5秒間バッファリングされるため、ビデオの

スームインすると、画像が停止して約5秒间パックアリングされるため、ビデオの 画質が向上します。バッファリングが停止すると、ズームインしたビデオが高画質 でレンダリングされます。

ライブビデオからクリップを録画する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. カメラフィードイメージをタップします。
- 3. [録画]

 をタップして録画を開始します。

 このアイコンが赤色になり、ビデオ録画を開始します。
- 4. 録画を停止するには、[録画]

 をもう一度タップします。



- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. カメラフィードイメージをタップします。
- [スナップショット] ⁽⁾ をタップします。
 スナップショットはライブラリに保存されます。



複数のカメラを使用する場合は、[デバイス]ページにカメラフィードが表示される順序を変更できます。カメラフィードイメージをズーム、または180°回転することもできます。

カメラの順序を変更する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] をタップします。
- 3. デバイスの設定で、[**デバイスの順番**]をタップします。
- スマートフォンまたはタブレットを使用している場合は、ページ上部の[編集]をタップします。
 リストアイコンが表示されます。
- 5. リストアイコンを長押しして、各デバイスをリスト上の正しい位置にドラッグし ます。
- 6. **[保存]**をタップします。

カメラフィードイメージを180°回転させる

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラを選択します。
- 4. [録画の設定] をタップします。
- 5. 画像を回転します。

iOSデバイスを使用している場合は、[画像を180°回転]をタップします。

Androidデバイスを使用している場合は、スライダーをタップして [オフ] にしてから画像を回転します。

動作検知アクティビティゾーン

カメラビュー内で、カメラが動作を検知して録画するゾーンを指定できます。Arlo Secureサブスクリプションが必要です。

アクティビティゾーンの追加

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラを選択します。
- 4. [ビデオ] で [アクティビティゾーン] をタップします。
- [+]をタップします。
 カメラフィードイメージにアクティビティゾーンボックスが表示されます。
- 6. ゾーンをカメラフィード画像内の目的の位置に移動します。
- 7. ゾーンの位置またはサイズを変更するには、ゾーンを長押しして移動します。
- 8. ゾーン名をカスタマイズするには、[編集] 🖉 をタップして名前を入力します。 Webブラウザーを使用している場合は、ゾーン名の横にある [>] をクリックします。
- 9. [保存]をタップします。

アクティビティゾーンの変更

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定]>[マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラを選択します。
- 4. [ビデオ] で [アクティビティゾーン] をタップします。
- 5. ゾーンをタップして選択します。
- 6. ゾーンをカメラフィード画像内の目的の位置に移動します。
- 7. ゾーンの位置またはサイズを変更するには、ゾーンを長押しして移動します。

- 8. ゾーン名をカスタマイズするには、[編集] 🖉 をタップして名前を入力します。 Webブラウザーを使用している場合は、ゾーン名の横にある [>] をクリックします。
- 9. **[保存]**をタップします。

アクティビティゾーンの削除

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラを選択します。
- 4. [ビデオ] で [アクティビティゾーン] をタップします。
- 5. ゾーンをタップして選択します。
- デバイスを削除します。
 iOSデバイスでは、動作検知ゾーンを左にスライドさせて [削除] をタップします。
 Androidデバイスでは、動作検知ゾーンを左にスライドさせます。

双方向音声機能

このカメラには、双方向音声機能をサポートしているマイクが搭載されています。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. カメラフィードイメージをタップします。
- 3. マイクのアイコン 🥊 をタップします。
- 4. 初めて双方向音声機能を使用するときは、Arloがスマートフォンのマイクを使用で きるようにします。
- マイクボタンをタップします。
 双方向音声機能がアクティブになります。
 カメラフィードの下に、タップしてマイクをミュートするボタンが表示されます。
 このボタンにより、ミュートのオン/オフが切り替わります。
- 6. 双方向音声機能をオフにするには、ページの左上隅にある [x] をタップします。

カメラの警報音を手動でオン/オフする

カメラには、警報音機能が搭載されています。この警報音は手動でオン/オフできま す。また、カメラが動作を検知した場合に警報音をオンにするタイミングを指定する、 警戒モードのルールを設定することもできます。

警報音を手動でオン/オフするには、次の手順に従います。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. 右上にある [警報音] ①をタップします。
- [警報音を有効にする] をタップします。
 複数のカメラがある場合は、1台を選択するように要求されます。
- 4. 警報音アイコンを右にスワイプします。
 カメラの警報音が鳴るようになります。
- 5. 警報音をオフにするには、[デバイス]ページの上部にあるスライダーをタップし ます。

録画とスナップショットを見る

Arloカメラでの録画とスナップショットはライブラリに保存されます。フィルターとカレンダーを使用して特定の録画を検索して見ることができます。

クラウド録画にアクセスする

カメラが録画するのは、警戒モードで動作や音を検知したときです。Arloの録画はクラ ウドのArloアカウントに送信され、ライブラリに保存されます。録画はユーザー名とパ スワードで暗号化されます。

録画内容にアクセスするには、モバイルデバイス上でArlo Secureアプリを使用する か、Webブラウザーを使用して https://my.arlo.com/#/login にアクセスします。録画は クラウドからダウンロードして保存できます。

ライブラリを使用する

ライブラリを使用して日付ごとに録画を検索して見ることができます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- [ライブラリ]をタップします。
 緑色の丸は、選択した日を示します。日付の下にある緑色のドットは、ビデオクリップが録画された日を示します。

3. 強調表示された日付をタップします。
 その日の録画がカレンダーの下に表示されます。

フィルターを使用する

フィルターを使用して、選択した条件により録画を検索して見ることができます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [**ライブラリ**]をタップします。
- 3. ページ左上隅にある [フィルター] をタップします。
- 4. 使用するフィルタリング条件をタップします。
- 5. **[完了]**をタップします。

フィルターを無効にする

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [**ライブラリ]**をタップします。
- 3. ページ左上隅にある [フィルター] をタップします。
- 4. [**リセット**]をタップします。
- 5. [完了] をタップします。

録画のダウンロード

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. **[ライブラリ]**をタップします。
- 3. 録画をタップします。
- 4. [ダウンロード]をタップします。
- 5. 確定するには、[OK] をタップします。

録画をお気に入りにする

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [**ライブラリ**]をタップします。
- 3. 録画をタップします。
- 4. [お気に入り] をタップします。

録画を共有する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [**ライブラリ]**をタップします。
- 3. 録画をタップします。
- 4. **[共有]**をタップします。
- 5. ファイルを共有します。

研究活動のために録画を提供する

Arlo製品の研究開発に役立つように、Arloにビデオファイルまたはスナップショットファイルを提供することができます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [**ライブラリ**]をタップします。
- 3. 録画をタップします。
- 4. **[寄付]** をタップします。
- 5. 確定するには、[OK] をタップします。

録画を削除する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [**ライブラリ**]をタップします。
- 3. 録画をタップします。
- 4. [削除] をタップします。
- 5. 確定するには、[**OK**] をタップします。

5. Arloアカウントにアクセスする

Arloアカウントを設定すると、スマートフォンやタブレットでArlo Secureアプリを使用して、またはWebブラウザーを使用してPCからArloアカウントにアクセスできます。PCを使用している場合は、ブラウザーのアドレス欄に 「https://my.arlo.com/#/login」と入力します。

2段階認証

2段階認証は、Arloアカウントにログインする際のセキュリティを一層強化し、アカ ウントを保護します。新しいデバイスでサインインするたびにArloがIDを確認しま す。Arloアカウントに関連付けられているメールアドレスに加えて、2段階認証方法を 最大5つ使用できます。

注:他のユーザーのArloアカウントを友人として使用しており、アカウント所有者が2段 階認証を設定している場合、ログインに2段階認証を使用する必要はありません。同様 に、ユーザーがArloアカウントの友人として2段階認証を設定しても、アカウントの所 有者には影響しません。

2段階認証でサインインするには、まずメールアドレスとパスワードを入力する必要が あります。次に、セキュリティコード (SMSテキストメッセージまたはメールで配信)を 使用するか、すでに信頼できるデバイスとして設定されているデバイスからの確認メー ルでIDを認証する必要があります。2つの情報を要求することで、他人がArloアカウン トのパスワードを知っていたとしても、意図しないログインを防ぐことができます。

- プッシュ通知。新しいデバイスでArloアカウントにログインしようとすると、Arlo は、信頼できるデバイスとして設定された(現在ログインしている)iOSまたは Androidデバイスにプッシュ通知を送信します。信頼できるデバイスでプッシュ通 知をタップして、ログインを承認または拒否します。
- SMSテキストメッセージ。Arloアカウントにログインしようとすると、2段階認証で 確認を行った電話番号にテキストメッセージが送信されます。テキストメッセージ に記載されているセキュリティコードを入力して、ログインを完了します。
- メール。プッシュ通知を使用しても信頼できるデバイスにアクセスできない場合、 またはSMSテキストメッセージを受信できない場合は、Arloアカウントに関連付け られたメールアドレスにセキュリティコードを送信するようリクエストできます。

2段階認証のセットアップ

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. **[設定]**をタップします。
- 3. [アカウント] セクションで、[プロファイル] > [ログインの設定] > [2段階認証] を選 択します。
- 4. [有効]の横にあるスイッチをタップします。
- 認証方法を選択します。
 メモ: Arloアカウントへのメールは自動バックアップオプションです。
- 6. アプリ内の指示に従って、2段階認証のセットアップを完了します。

電話番号またはデバイスを2段階認証に追加する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. **[設定]**をタップします。
- [アカウント] セクションで、[プロファイル]>[ログインの設定]>[2段階認証] を選 択します。
- 4. 電話番号を追加するには、[SMS認証の追加]をタップし、電話番号を入力します。
- 5. 信頼できるデバイスを追加するには、[信頼できるデバイスの追加]をタップします。

2段階認証から電話番号またはデバイスを削除する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. **[設定]**をタップします。
- 3. [アカウント] セクションで、[プロファイル] > [ログインの設定] > [2段階認証] を選 択します。
- 4. 電話番号または信頼できるデバイスの横にあるゴミ箱アイコンをタップします。

顔認証または指紋認証を使用する

対応するAppleデバイスでTouch ID®またはFace ID®を使用できます。対応するAndroid デバイスでは、指紋認証を使用できます。

使用するデバイスは、次の最低要件を満たしている必要があります。

- Appleデバイス: iOSバージョン10.3以降 Touch ID対応デバイス (iPhone 5s、iPad Air 2以降) Face ID対応デバイス (iPhone X、iPad Pro 2018以降)
- Androidデバイス:
 Android OSバージョン6.0以降 指紋認証に対応するAndroidデバイス

Arlo Secureアプリの指紋認証のオン/オフを切り替える

- 1. iPhoneまたはAndroidデバイスで指紋認証を有効にします。
- 2. Arlo Secureアプリを起動します。
- 3. **[設定]**をタップします。
- 4. [アカウント] セクションで、[プロファイル] > [ログインの設定] を選択します。
- 5. 指紋またはTouch IDの切り替えスイッチを右 (オン) または左 (オフ) にスライドし ます。

Arlo Secureアプリの顔認証のオン/オフを切り替える

- 1. iPhoneでFace ID認証を有効にします。
- 2. Arlo Secureアプリを起動します。
- 3. [設定] をタップします。
- 4. [アカウント] セクションで、[プロファイル] > [ログインの設定] を選択します。
- 5. Face IDの切り替えスイッチを右 (オン) または左 (オフ) にスライドします。

プロファイルのカスタマイズ

名前の入力、プロファイル写真や自宅住所の追加、Arloニュースおよびサポート最新情報のオプトイン/オプトアウトなどを実行できます。

プロファイル写真の追加

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] をタップします。

- 3. [アカウント] セクションで、[プロファイル]>[プロファイルの編集] を選択します。
- 4. ページの上部でプロファイル写真をタップします。
- 5. [写真の撮影] または [ライブラリから選択] を選択します。 メモ: すでにプロファイル写真がある場合は、[現在の写真を削除] を選択すること もできます。
- 6. 使用するプロファイル写真をアップロードします。
- 7.ページ下部の[保存]をタップします。

プロファイル設定の編集

名前の入力、プロファイル写真や自宅住所の追加、Arloニュースおよびサポート最新情報のオプトイン/オプトアウトなどを実行できます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] をタップします。
- 3. [アカウント] セクションで、[プロファイル]>[プロファイルの編集] を選択します。
- 4. プロファイル設定を入力します。
- 5. ページ下部の **[保存]** をタップします。

Arloパスワードの変更

Arlo Secureアプリで、またはmy.arlo.comにログインしてパスワードを変更できます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] をタップします。
- 3. [アカウント] セクションで、[プロファイル] > [ログインの設定] を選択します。
- 4. 古いパスワードを入力します。
- 5. 新しいパスワードを入力し、確認用のフィールドにも再入力します。
- 6. **[パスワードの変更]** をタップします。 新しいパスワードが保存されました。

忘れたパスワードのリセット

Arloパスワードを忘れた場合は、確認済みのメールアドレスを使用してパスワードをリ セットできます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [パスワードを忘れた場合] をタップします。
- 3. メールアドレスを入力します。
- 4. [メールを送る] をタップします。 確認済みのメールアドレスにalerts@arlo.comからメールが送信されます。
- 5. メール内のリンクをタップします。
- 6. 新しいパスワードを入力してください。
- [送信] をタップします。
 パスワードがリセットされます。

友人にアクセス権を付与する

Arloアカウントに友人を追加できます。友人は、カメラからライブストリームを見たり、ビデオクリップを録画したり、ライブラリからのクリップを見たり、共有したり、お気に入りとしてマークしたり、削除したり、スナップショットを作成したりできます。友人には、Arloアカウントの一部の設定および機能への限定アクセスが付与されます。友人が表示できるカメラや、友人の管理権限を設定することができます。

アクセス権を持たない友人は、次のことを実行できます。

- ・ ライブラリコンテンツの再生と表示
- ライブ表示
- ビデオのズームとドラッグ
- 明るさの調整
- 全画面表示

アクセス権を付与された友人は、次のことも実行できます。

- ・ ビデオの再生と一時停止
- ビデオの録画
- スピーカーの消音
- モードへのアクセスと変更

- 動作検知ステータスの表示
- 手動録画
- スナップショット撮影
- ・ ビデオのお気に入り設定、共有、ダウンロード、および削除
- カメラのマイクの使用

友人を追加する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] をタップします。
- 3. [アカウント] で、[アクセス権の付与] をタップします。
- 4. [追加] または [+] をタップします。
- 5. 友人の名、姓、メールアドレスを入力します。
- 6. 友人にアクセスさせたいArloデバイスをタップします。
- 友人にアクセス権を付与するには [アクセス権の許可] をタップします。
 [アクセス権の許可] を選択すると、自分のアカウントおよびカメラ設定の変更を友人に許可することができます。
- [招待を送る] をタップします。
 Arloアカウントの作成を勧める招待メールメッセージが友人に送信されます。この 友人の名前が [保留] ステータスで表示されます。友人が招待を受け入れると、ステ ータスが [承認済み] に変わります。

友人のアクセス権を編集する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. **[設定]**をタップします。
- 3. [アカウント] で、[**アクセス権の付与**] をタップします。 友人のリストがそれらのアカウントのステータスと一緒に表示されます。
- 4. 友人をタップして、[編集] 🖉 をタップします。
- 5. カメラをタップして、選択または選択解除します。
- [アクセス権の許可] をタップします。
 [アクセス権の許可] を選択すると、自分のアカウントおよびカメラ設定の変更を友人に許可することができます。

7. **[完了]**をタップします。

友人を削除する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. **[設定]**をタップします。
- 3. [アカウント] で、[アクセス権の付与] をタップします。
- 4. 友人を選択して、[編集] 🖉 をタップします。
- 5. [友人を削除] をタップします。
- 6. **[はい]** をタップします。

6. モード、ルール、アラート

Arloカメラおよびデバイスを警戒モードまたは待機モードにしたり、各デバイスを自動 的に警戒モードにするスケジュールを設定したりできます。カメラは、警戒状態になる と、動作を検知します。モードとルールでArloシステムをさまざまな状況に合わせて自 動的に動作させることができます。例えば、動作を検知したときにビデオを録画し、 メールアラートを送信するようにArloシステムを設定できます。

モード

Arloのモードにより、動作に対するArloカメラの応答をコントロールすることが可能で す。たとえば、昼間に庭仕事をしているときに、庭で発生した動作に関するアラート は受け取りたくないでしょう。休暇で出かけているときは、別のモードに切り替えた いでしょう。モードは、時間によってカメラの応答を変えることができます。

Arlo Secureアプリには、以下のモードがあります。

- 警戒。このカメラでは検出がオンです。
- × **待機**。このカメラでは検出がオフです。
- (--) **スケジュール**。スケジュールに基づいて検出を管理します。
- ジオフェンス。モバイルデバイスの場所に基づいて、特定の場所に到着または離脱するときに、スケジュールモードを有効化、無効化、または再開できます。

[警戒] および [スケジュール] モードをカスタマイズしたり、新しいモードを追加したり できます。一部のカメラがアクティブで他のカメラがアクティブでないモードを作成 することもできます。同じカメラにさまざまなモードを作成できますが、そのカメラ で一度に使用できるモードは1つだけです。

モードの選択

モードを選択したり、スケジュールに従ってアクティブにするモードを設定したりできます。

1. Arlo Secureアプリを起動します。

- 2. [モード]をタップします。
- カメラ、またはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーション (使用している場合) を選択します。 モードのリストが表示されます。
- オンにするモードをタップします。
 このモードがすぐに有効になります。このモードは、変更するまでオンのままです。

すべてのデバイスを警戒モードまたは待機 モードにする

すべてのArloデバイスを同時に、警戒モードまたは待機モードにすることができます。 これを行うと、すべてのArloデバイスのスケジュール、ジオフェンス、カスタムモード など他のモードが無効になります。

すべてのArloデバイスを警戒モードまたは待機モードにするには、次の手順に従います。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [モード]をタップします。
- **[すべてのデバイスを警戒モードにする]** または **[すべてのデバイスを待機モードにする]** をタップします。

メモ:オプションのArlo SmartHubまたはベースステーションを設定すると、その SmartHubまたはベースステーションに接続されているすべてのArloカメラとデバイス が自動的に警戒モードになります。SmartHubやベースステーションを使用していると きに、時間によって屋内および屋外用カメラの警戒モードを変える場合は、カスタムモ ードを追加します。オプションのSmartHubまたはベースステーションに接続された屋外 用カメラのみを警戒モードにする (38ページ)を参照してください。

モードのルール

各モードでは、1つ以上のルールを使用してArloシステムを制御します。次のオプションを設定できます。

- トリガーとなるデバイス。トリガーとなるデバイスは、動作を検知するカメラを指します。動作の感度を調整し、不要なアラートを最小限に抑えることができます。
- 動作させるデバイス。動作させるデバイスは、トリガーとなるデバイスの動作検知に応答します。例えば、裏庭のカメラで動作を検知し、ドア横に設置したカメラで動画録画を開始することができます。動作が検知されたときに、各カメラで実行するアクションを決めます。

• 通知。イベントが検知されたら、Arloはメールアラートやプッシュ通知を送信できます。メールは、友人や家族、その他アラートが必要な人に送信できます。

動作検知の感度を変更する

ルールを編集して、カメラの動作検知の感度レベルを変更できます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [モード]をタップします。
- カメラ、またはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーション (使用している場合) を選択します。
 モードのリストが表示されます。
- 4. モードの横にある [編集] 🖉 をタップします。
- 5. ルールの横にある[編集] 🖉 をタップします。
- 6. [次の場合] で、[動作の検知] の横にある [編集] 🖉 をタップします。
- 7. スライダーを動かして、このカメラの動作検知感度レベルを調整します。 PCの場合は [ルールを編集] をクリックします。
- 8. ブラウザーを使用して設定を指定している場合は、[保存]をクリックします。

カメラの警報を有効にするルールを使用 する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. **[モード]**をタップします。
- カメラ、あるいはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーション (使用している場合) をタップします。
 モードのリストが表示されます。
- 4. モードの横にある [編集] 🖉 をタップします。
- 5. ルールの横にある[編集] 🖉 をタップします。
7. [警報音の長さ] と [警報の音量] を指定します。

オプションのベースステーションの警報を 鳴らすルールを追加する

カメラをオプションの警報音機能付きArloベースステーションVMB4000または VMB4500 (別売) とペアリングした場合は、ベースステーションの警報音を鳴らすルー ルを作成できます。カメラの警報音機能については、カメラの警報を有効にするルール を使用する (36ページ)を参照してください。

ベースステーションの警報音を鳴らすルールを追加するには、次の手順に従います。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [モード]をタップします。
- カメラ、あるいはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーション (使用している場合) をタップします。 モードのリストが表示されます。
- 4. モードの横にある [編集] 🖉 をタップします。
- 5. [ルール] でカメラを選択します。
- 6. [警報を鳴らす] のチェックボックスを選択します。
- 7. [警報を鳴らす] をタップします。
- 8. [警報音の長さ]と[警報の音量]のスライダーを設定したいレベルまで動かします。
- 9. ルールの横にある [編集] 🖉 をタップします。
- 10.**[完了]** をタップします。

メモ: このルールは、警報のトリガーを追加したモードを有効にするまで、アクティブにはなりません。

カスタムモードの追加

Arlo Secureアプリにあらかじめ付帯しているモード以外のモードを作成することができ、新しいモードに「休暇」などのカスタム名を付けることができます。カメラはモードごとに1つのルールを持ちます。1つのモードの中に複数のルールを作成できます。 ルールを組み合わせることで、フレキシブルなイベントとアクションに対応します。

1. Arlo Secureアプリを起動します。

- 2. **[モード]**をタップします。
- カメラ、またはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーション (使用している場合) を選択します。 モードのリストが表示されます。
- 4. [モードの追加] をタップします。
- 5. モード名を入力し、[次へ]をタップします。
- 6. トリガーデバイスを選択し、[次へ]をタップします。 これは動作を検知するカメラです。
- 7. **[動体検知時]** セクションにトリガーデバイスの設定を入力して、**[次へ]** をタップします。
- スライダーを使ってトリガーデバイスの動作検知感度を設定し、[次へ]をタップします。
 通常、動作検知感度を高く設定すると、カメラは頻繁に録画するようトリガーされます。
- 動作させるデバイスを選択して、[次へ]をタップします。
 これは、トリガーデバイスが動作を検知したときにアクションを実行するArloデバイスです。トリガーとして使用しているのと同じArloデバイス、または別のArloデバイスを選択できます。
- 10. [ビデオの録画] などアクションを選択し、[次へ] をタップします。 コンピュータのWebブラウザーを使用している場合は、録画時間の設定も指定でき ます。
- 11. Arloが動体検知時に送信する通知を選択し、[次へ]をタップします。
- 12.設定を確認して、[保存]をタップします。

オプションのSmartHubまたはベースステ ーションに接続された屋外用カメラのみを 警戒モードにする

Essential屋内用カメラには、Arlo SmartHubやベースステーションは必要ありません。ArloカメラでオプションのSmartHubまたはベースステーションを使用した場合、 屋外用カメラのみを警戒モードにして屋内用カメラを待機モードにするモードを追加で きます。これは、Arloで屋外のアクティビティを監視したいが、室内にいる間に自分を 録画したくない場合に便利です。 **メモ:** また、カメラの警戒モードまたは待機モードのスケジュールを設定することもできます。カメラが警戒モードになるタイミングのスケジュール設定 (41ページ) を参照してください。

屋外用カメラを警戒モードにして屋内用カメラを待機モードにするモードを追加するに は、次の手順に従います。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. **[モード]**をタップします。
- 3. オプションのArlo SmartHubまたはベースステーションを選択します。 モードのリストが表示されます。
- 4. [モードの追加] をタップします。
- 5. 「屋外警戒」などの新しいモード名を入力して、[次へ]をタップします。
- 6. 屋外用カメラを1台選択します。
- 7. Arlo Secureアプリの指示に従います。
- 8. [概要] 画面が表示されたら、**[保存]** をタップします。 SmartHubモードまたはベースステーションモードが表示されます。
- 9. 作成したモードの横にある [編集] 🖉 をタップします。
- 10. [**ルールを追加**] をタップして、残りの屋外用カメラを追加します。 このモードのルールには、すべての屋外用カメラを含めることを忘れないでください。屋内用カメラは追加しないでください。
- 11.屋外用カメラの追加が完了したら[完了]をタップします。

アラートを管理する

モバイルデバイスに通知をプッシュしたり、アラートメールを送信したり、その両方を 行ったりできます。Arloの通知をスマートフォンで受信するには、Arlo Secureアプリを スマートフォンにインストールする必要があります。

メモ: スマートフォンまたはモバイルデバイスでArlo Secureアプリからログアウトした場合、プッシュ通知の受信は停止します。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [モード]をタップします。

- カメラ、またはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーション (使用している場合)を選択します。
 モードのリストが表示されます。
- 5. [アラート] で、[**プッシュ通知]** をタップすると、プッシュ通知のオン/オフが切り替わります。
- 6. [アラート] で、[**アラートメール]** をタップして、メール通知のオン/オフを切り替え ます。
- 7. メールアドレスを指定するには、[アラートメール] の横にある [編集] 🖉 をタップして、メールアドレスを入力します。

通知をミュートする

通知をミュートすると、ビデオの録画中、モバイルデバイスへのプッシュ通知を一時的 に消音します。この設定は、友人に通知する必要がない裏庭でのパーティーなどに最適 です。

Arlo Secureアプリから通知をミュートすることができます。Arlo Secureを使用している場合は、プッシュ通知から直接ミュート通知を有効にすることもできます。

通知をミュートするには、次の手順に従います。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [通知のミュート] をタップします。
- 通知をミュートする時間を選択します。
 通知をミュートしようとしていることを確認するメッセージが表示されます。通知のミュートのステータスには、通知が再開されるまでの残り時間が表示されます。

通知のミュートを解除するには、次の手順に従います。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [通知のミュート] > [ミュートを解除] をタップします。 通知のミュートのステータスがオフに変わります。

カメラが警戒モードになるタイミングのス ケジュール設定

スケジュールを設定して、1週間の内カメラが動作検知に応答するようになる曜日と時間を指定できます。スケジュールは週単位で繰り返されます。たとえば、火曜日のスケジュールは、スケジュールがオンになっている限り、毎週火曜日に繰り返されます。

カメラが動作検知に応答するタイミングをスケジュールするには、次の手順に従います。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [モード] をタップします。
- カメラ、またはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーション (使用している場合) を選択します。 モードのリストが表示されます。
- 4. **[スケジュール]** をタップします。
- 5. [スケジュール]の横にある [編集] 🖉 をタップします。
- 6. [追加] または [+] をタップします。
- 7. 日時を設定します。

メモ: 午後8時から午前6時までのように夜間スケジュールを追加するには、スケジ ュールを2つに分けて追加する必要があります。最初に午後8時から午後11時59分ま でのスケジュールを追加し、その後午前12時から午前6時までのスケジュールを追 加します。

8. **[完了]**をタップします。

スケジュールを編集する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. **[モード]**をタップします。
- カメラ、またはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーション (使用している場合)を選択します。
 モードのリストが表示されます。
- 4. **[スケジュール]** をタップします。
- 5. [スケジュール]の横にある [編集] 🖉 をタップします。

- 6. 緑色のボックスをタップします。
- 7. 開始時刻と終了時刻を変更して、[保存]をタップします。

Arloジオフェンスをセットアップする

ジオフェンスは、ゾーンと呼ばれる場所を囲む仮想フェンスです。Arloジオフェンスを 使用すると、モバイルデバイスがゾーンに入っている場合、またはゾーンから出ている 場合に、スケジュールモードを有効化、無効化、または再開できます。ジオフェンスを セットアップするには、モバイルデバイスを使用して、位置情報の利用をArlo Secure アプリに許可する必要があります。

ジオフェンスの精度

精度を上げるために、ジオフェンスは、GPS、モバイルデータ通信、Wi-Fiデータ通信 を組み合わせて使用します。地域の環境は、ジオフェンスに影響を与えます。

• 都市環境 (モバイルデータ通信の電波塔やWi-Fiルーターの密度が高い環境) では、ジオフェンスの精度が100~200 mになることがあります。

メモ: 超高層の建物に住んでいる場合、GPSが不正確になるため、ジオフェンスの 信頼性が低下することがあります。範囲設定 [大] を使用すると、問題が解決される 場合があります。

・ 地方の環境 (モバイルデータ通信の電波塔やWi-Fiルーターがまばらな環境) では、ジ オフェンスの精度が数百メートルになることがあります。

ジオフェンスの精度を向上させるには、モバイルデバイスが次の条件を満たしていることを確認します。

- Wi-Fiがオンになっている。
- GPSまたは位置情報サービスがオンになっている。

ジオフェンスを使用するためにモバイルデバイスを準備 する

- 1. Arloがデバイスを見つけることができるように、GPSサービスまたは位置情報サービスを有効にします。
- 2. Wi-Fiを有効にします。
- 3. ジオフェンスを有効にする各モバイルデバイスで、Arlo Secureアプリをダウンロードして、ログインします。

デバイスでArloジオフェンスを使用するには、AndroidまたはiOSモバイルデバイスの設定を次のように調整する必要があります。

Androidデバイス

- 位置情報許可 = オン
- 位置情報サービス=オン
- バッテリーセーバー=オフ
- データ制限=オフ
- 機内モード=オフ

iOS (Apple) デバイス

- 自分の位置情報を共有=オン
- 位置情報サービス = 常時
- 機内モード=オフ

ジオフェンスを初めてセットアップし、さらにモードをセ ットアップする

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. **[モード]**をタップします。
- カメラ、またはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーション (使用している場合) を選択します。 モードのリストが表示されます。
- 4. **[ジオフェンス]** をタップします。
- 5. Arlo Secureアプリがモバイルデバイスの位置情報を使用できるようにします。 ジオフェンスは、Arloがモバイルデバイスを見つけることができる場合にのみ機能 します。[ロケーションの住所] ページには、現在の住所が表示されます。
- 6. 範囲の設定を変更するには、[範囲] をタップし、範囲のサイズを選択します。 範囲のサイズオプションは、[小]、[中]、[大] (それぞれ約150 m、250 m、500 m) です。
- 7. [デバイスの場所]をタップして、場所の名前を入力します。
- [退席中モード] をタップして、モードを選択します。
 モバイルデバイスがカメラの位置の範囲外にある場合、カメラは退席中モードを使用します。ほとんどの人は、[警戒]、[スケジュール]、[カスタムモード]を選択して、不在時もカメラが動作を検出できるようにします。

9. **[ホームモード]**をタップして、モードを選択します。

モバイルデバイスがカメラの位置の範囲内にある場合、カメラはこのモードを使用 します。通常、自宅にいる場合は[待機]モードを選択します。

有効なモバイルデバイスが複数ある場合は、接続するArloデバイスを選択するよう に求められることがあります。

- 10. 優先するモバイルデバイスを選択するには、デバイスをタップし、[次へ] をタップ します。
- 11.[保存]をタップします。

トラブルシューティングのヒントについては、Arloジオフェンスのトラブルシューティング (63ページ)を参照してください。

複数のモバイルデバイスでジオフェンスを 使用する

Arloジオフェンスは複数のモバイルデバイスで動作します。

Arloは、FILO (First In Last Out) 原則を使用して、複数のユーザーがジオフェンスを使用 している世帯を管理します。全員が各自のモバイルデバイスを持って外出した場合は、 退席中状態になります。ジオフェンス内には誰もいなくなるため、カメラは警戒モード になります。1人でもユーザーが帰宅すると、そのモバイルデバイスがジオフェンス内 にあるため、ホーム状態になり、カメラが待機モードになります。1人が外出しても他 の人がまだ家に残っている状態であれば、最後のユーザーが外出するまで、カメラはホ ーム状態で待機モードのままになります。

各ユーザーが毎日持って出かけるモバイルデバイスにのみ、ジオフェンスを有効にする ことをお勧めします。たとえば、スマートフォンとタブレットを使用しており、外出時 にはスマートフォンを持って出かけるような場合は、ジオフェンスの設定でスマートフ ォンを有効なデバイスとして設定します。退席中モードがトリガーされなくなるため、 外出時にタブレットを家に置いておく場合は、タブレットを有効なデバイスとして設定 しないでください。

ジオフェンスモードでは、有効なモバイルデバイスがすべてデバイスの場所のゾーン内にない場合にのみ、ジオフェンスモードが[ホーム]から[退席中]に変わります。

ジオフェンスを使用しているモバイルデバイスを確認するには、Arlo Secureアプリを 開き、ジオフェンスの設定 (Arlo Secureアプリの [モード] セクション) で [有効なデバイ ス] ページを確認します。[ホーム]/[退席中] モードの変更をトリガーしたくないデバイ スはすべて削除してください。

次の条件が満たされていることを確認します。

- Arloデバイスがオンラインになっている。
- ジオフェンスが有効になっている。
- 友人と家族のモバイルデバイスを追加している。
 デバイスの追加については、友人のモバイルデバイスのジオフェンスを有効または無効にする (45ページ)を参照してください。
- (友人がジオフェンスに参加する場合に必須)友人が自身のモバイルデバイスでArlo Secureアプリにログインしており、そのモバイルデバイスでGPSまたは位置情報サ ービスが有効になっている。

友人のモバイルデバイスのジオフェンスを有効または無効 にする

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. **[モード]**をタップします。
- カメラ、またはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーション (使用している場合) を選択します。
 モードのリストが表示されます。
- 4. [ジオフェンス]の横にある [編集] 🖉 をタップします。
- 5. **[有効なデバイス]**をタップします。 モバイルデバイスのリストが表示されます。ジオフェンスが有効な場合、デバイス 名の横にチェックマークが表示されます。
- 1つ以上のモバイルデバイスをタップします。
 デバイスの場所は、ゾーン内、ゾーン外、または使用不可 (そのデバイスへの接続 に問題がある場合)のいずれかが表示されます。
- ジオフェンスを無効にするには、モバイルデバイスをもう一度タップします。
 ジオフェンスを無効にすると、チェックマークが表示されなくなります。

詳細については、Arloジオフェンスをセットアップする (42ページ) を参照してください。

7. 設定を変更する

カメラ設定

次のいずれかの方法を使用して、各カメラの設定を表示または変更できます。

- [設定]>[マイデバイス]をタップして、カメラを選択します。
- カメラフィードの下にある [メニュー] アイコン・・・・または [デバイス設定] アイコン

 なタップします。

カメラ名を変更する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラをタップします。
- 4. カメラ名の横にある [編集] 🖉 をタップします。
- 5. 「車庫」や「玄関ドア」など、カメラの場所がわかる新しい名前を入力します。 カメラ名は、32文字までです。

6. **[保存]**をタップします。

カメラのLEDをオフにする

カメラのLEDはさまざまな色で点灯します(LEDを確認する (8ページ)参照) このLEDは オフにできます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラをタップします。
- 4. [**カメラLED**] をタップします。
- 5. LEDのオン/オフを切り替えます。 モバイルデバイスを使用している場合は、設定が保存されます。

6. PCを使用している場合は、[保存]をクリックしてください。

タイムゾーンを変更する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラ、あるいはオプションのSmartHubやベースステーション(使用している場合) をタップします。
- 4. **[タイムゾーン]**をタップします。
- 5. タイムゾーンをタップします。 モバイルデバイスを使用している場合は、設定が保存されます。
- 6. PCを使用している場合は、[保存]をクリックしてください。

ビデオ設定

ビデオ画質を変更する

ビデオ解像度を設定できます。ビデオ品質が高いほど帯域幅が多く使用されます。低い 解像度設定を使用すると、必要なWi-Fiの帯域幅が軽減されます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラをタップします。
- 4. [録画の設定] をタップします。
- 5. ビデオの設定を調整します。
 - **夜間撮影機能**。夜間撮影機能のオン/オフを切り替えるには、タップまたはクリックします。

夜間撮影機能をオンにすると、カメラは赤外線 (IR) LEDを自動的に点灯して、暗い場所での録画を開始します。カメラが窓などの反射面に面している場合を除いて、夜間撮影機能をオンのままにすることをお勧めします。

- 画像を180°回転します。カメラのビデオストリームを180°反転するには、タップまたはクリックします。
- ビデオ品質。カメラの解像度を1080p、720p、480pのいずれかに変更するには、タップまたはクリックします。

ビデオ品質が高いほど、インターネット帯域幅が多く使用されます。Essential屋 内用カメラを最大限に活用するには、カメラ1台あたり2Mbps以上のアップロー ド速度を推奨します。

音声の設定を調整する

設定を調整して、マイクのオン/オフを切り替えたり、スピーカーを調整したりでき ます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラをタップします。
- 4. モバイルデバイスを使用している場合は、[オーディオ設定]をタップします。
- 5. 次の設定を調整します。
 - [マイク] トグルボタンで、マイクのオン/オフを切り替えることができます。
 - **スピーカー**。スピーカーのオン/オフを切り替えるには、[**スピーカー**]をタップします。
 - スピーカーボリューム。スライダーを動かして、カメラの内蔵スピーカーの音量 を調節します。

ちらつき設定を調整する

特定の人工光源とカメラのシャッタースピードの組み合わせによっては、録画ビデオに ちらつきが生じることがあります。デフォルト設定は[自動]ですが、ちらつき調整は 変更できます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラ、またはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーション (使用している場合) を選択します。
- 4. [ちらつきの調整] をタップします。
- 5. [設定]をタップします。

Essential屋内用カメラのオン/オフの切り 替え

Essential屋内用カメラの電源を入れてセットアップしたら、そのまま通常の使用が可能 です。Arlo Secureアプリには、[警戒] や[待機] などのモードがあります。警戒モード ではビデオを録画し、待機モードではプライバシーシールドを閉じるようカメラを制御 できます。Essential屋内用カメラにはオン/オフスイッチはありませんが、Arlo Secure アプリを使用してデバイス設定ページからオン/オフを切り替えることができます。

カメラをオン/オフするには、次の手順に従います。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- カメラフィードの下にある [メニュー] アイコン・・・・ または [デバイス設定] アイコン
 な をタップします。
- 3. デバイス設定ページでカメラをオフにします。

Arlo Secureアプリからカメラを再起動する

メモ: カメラをオプションのSmartHubまたはベースステーションとペアリングした場合、Arlo Secureアプリを使用してSmartHubまたはベースステーションを再起動できますが、カメラは再起動できません。

1. Arlo Secureアプリを起動します。

- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラを選択します。
- 4. ページの最下部まで下にスクロールし、[再起動]をタップします。

デバイス情報を確認する

ファームウェアバージョン、ハードウェアバージョン、およびシリアル番号を表示でき ます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. デバイスをタップします。
- 4. [デバイス情報] をタップします。

アカウントからデバイスを削除する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. カメラをタップします。
- 4. 下にスクロールして、**[デバイスを取り外す]**をタップします。

SmartHubおよびベースステーションのオ プションの設定

カメラは、オプションのArlo SmartHubモデルVMB5000またはVMB4540、あるいは警 報音機能付きベースステーションモデルVMB4500またはVMB4000とペアリングできま す。Arlo Secureアプリを使用すると、SmartHubまたはベースステーションの設定を指 定できます。

SmartHubまたはベースステーション名を変更する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. SmartHubまたはベースステーションをタップします。
- 4. 名前の横にある 🖉 [編集] をタップします。
- 5. 新しい名前を入力します。
- 6. **[保存]**をタップします。

SmartHubまたはベースステーションを再起動する

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. SmartHubまたはベースステーションをタップします。
- 4. 下にスクロールして [再起動] をタップします。

ベースステーションの警報音をオン/オフする

デフォルトでは、ベースステーションの警報は最大音量 (100デシベル以上) に設定され ています。ベースステーションの警報を発するように動作検知ルールを設定したり、ル ール設定時に警報の音量を選択したりできます。ベースステーションの警報の設定に は、[普通]、[大]、[最大] があります。オプションのベースステーションの警報を鳴らすル ールを追加する (37ページ) を参照してください。

警告: 警報の初期値は最大値になっており、100 dB以上になります。ベースステーションの近くに人やペットがいる間は、警報音のテストは絶対に行わないでください。長時間の警報音により難聴を引き起こす可能性があります。

Arlo Secureアプリを使用して、ベースステーションの警報のオン/オフを切り替える には

1. Arlo Secureアプリを起動します。

2. [警報を鳴らす] をタップします。

3. [はい] をタップして、警報を鳴らすことを確認します。

ベースステーションの警報ボタン

警報音機能付きベースステーションモデルVMB4000は、上部に ボタンがあります。

警告: 警報の初期値は最大値になっており、100 dB以上になりま す。ベースステーションの近くに人やペットがいる間は、警報 音のテストは絶対に行わないでください。長時間の警報音によ り難聴を引き起こす可能性があります。

このボタンを押すと、警報音のオン/オフが切り替わります。



8. SmartHubのSDカードストレージ

SmartHubモデルVMB5000はSDカードストレージをサポートしています。Essential屋内 用カメラをSmartHub VMB5000とともに使用する場合は、この機能を使用できます。

microSDカードをSmartHub VMB5000のスロットに挿入し、Arloの録画をクラウドとSDカードの両方に保存できます。SmartHubがインターネットに接続されていない場合、録画は引き続きmicroSDカードに保存されます。Arlo UltraカメラとSmartHubの間にアクティブなライブストリーミング接続がある場合は、microSDカードに録画できます。SDカードの保存スペースが不足しているかいっぱいになっている場合は、Arlo Secureアプリから通知されます。

microSDカードのフォーマット

SmartHubはSDHCまたはSDXC microSDカードに対応しています。容量16 GB、スピードクラス10、UHS-1、V10以上のmicroSDカードを使用することをお勧めします。Arlo SmartHubはクラス10 UHS-3 V90までサポートしています。

microSDカードがフォーマットされていないか、互換性のないファイルシステムでフォ ーマットされている場合は、Arlo Secureアプリを使用してmicroSDカードをフォーマッ トできます。microSDカードのフォーマット (54ページ) を参照してください。

microSDカードの挿入

1. microSDカードをSmartHubの下部にあるスロットに挿入します。



2. microSDカードがスロットに完全に装着されるまでmicroSDカードの端を押します。

SDカードのステータスの表示

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ] をタップします。
- 3. SDカードのアイコン 一を確認します。microSDカードをSmartHubに挿入すると、 そのアイコンはオレンジ色 (一) になります。
- microSDカードのステータスの詳細を表示するには、[ローカルストレージ]で[スト レージ設定] をタップします。
 [SDカードステータス] には [良好] と表示されるか、SDカードをフォーマットする必要があるか、いっぱいであるかが表示されます。このような場合は、Arlo Secureアプリからも通知されます。

利用可能なSDカードストレージの表示

SDカードがいっぱいになると、Arlo Secureアプリから通知されますが、使用可能なストレージを確認することもできます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ]>[ストレージ設定] をタップします。
 [使用可能なストレージ] フィールドには、SDカードで使用可能なストレージ容量が 表示されます。

SDカードへの録画のオン/オフ切り替え

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ] をタップします。
- 3. SmartHubを選択します。
- 4. [ストレージ設定]>[ローカルに録画] をタップします。 SDカードへの録画がオフまたはオンに切り替わります。

[高品質ローカル録画] をオンにする

SDカードに保存されるSmartHub録画は、デフォルトで1080pですが、この設定を変更 して、カメラでサポートされている最適な解像度で録画できます。たとえば、Ultraシ リーズカメラは4Kローカル録画をサポートし、Pro 3カメラは2Kローカル録画をサポー トします。

[高品質ローカル録画]をオンにするには、次の手順に従います。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ] をタップします。
- 3. SmartHubを選択します。
- 4. [ストレージ設定] > [高品質ローカル録画] をタップします。

SDカード上書き設定の変更

デフォルトでは、SDカードがいっぱいになると、最も古いArlo録画が消去されて新しい録画用のスペースが確保されます。SDカード上のArloフォルダーにないファイルは、Arlo録画用のスペースを確保するために削除されません。Arlo録画が自動的に消去されないように設定を変更できます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ]>[ローカルに録画] をタップします。
- 3. [自動的に上書き] をタップします。 上書き設定のオン/オフが切り替わります。

microSDカードのフォーマット

SmartHubでは、microSDカード、SDHCまたはSDXCのみを使用できます (FAT32ファイルフォーマット)。SDカードをフォーマットする必要があるかどうかを知らせるメッセージがArlo Secureアプリに表示されます。SmartHubではSDカードをフォーマットできます。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ] > [ローカルに録画] をタップします。
- 3. 赤の [SDカードのフォーマット]ボタンをタップします。

SDカードを安全に取り出す

SmartHubからmicroSDカードを安全に取り出すことは重要です。情報の記録中にSDカードを取り出すと、SDカードが完全に使用できなくなる可能性や、カード上のファイルが破損する可能性があります。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ]>[ローカルに録画] をタップします。
- 3. [SDカードを安全に取り外す] をタップします。
- 4. [SDカードを取り外しています]進行状況メッセージが閉じるのを待ちます。
- 5. SDカードの端を押し込み、飛び出てきたらSmartHubからSDカードを取り出します。

SDカードの取り外し中は、SmartHubの電源を切ったり、SDカードを取り出さない でください。

 SDカードのアイコンがオレンジ色 一からグレー 一に変わり、スロットにmicroSD カードがないことが示されます。 別のSDカードを挿入するまで、Arlo SDカードへの録画は無効になります。

microSDカードのビデオの表示

microSDカードに保存されたArloビデオを表示するには、SmartHubからmicroSDカード を取り出し、microSDカードリーダーを使用する必要があります。

microSDカードリーダーはコンピュータ内蔵のものでも、USBまたはマイクロUSBコネ クター付きのメモリーカードリーダーでもかまいません。SDカードリーダーを購入す る場合は、microSDカードを読み取れるものを必ず選択してください。

- microSDカードを安全に取り出します。
 詳細については、SDカードを安全に取り出す (55ページ) を参照してください。
- 2. microSDカードをカードリーダーのスロットに挿入します。
- 3. microSDカードがコンピュータの使用可能なドライブのリストに表示されるのを待ってから、ドライブフォルダーを開いてmicroSDカードのファイルを表示します。
- Arloフォルダーを開きます。
 録画したビデオはMP4形式で、映像ファイルは次の形式で命名されています: カメラのシリアル番号_映像番号_日付_ビデオクリップタグ。日付の形式はYYYMMDD (年月日)です。

メモ:お使いのPCでMP4形式ファイルが再生できない場合、メディアプレーヤーを最新バージョンにアップデートしてからやり直してみてください。標準的なマルチメディアプレーヤーのVLCでも再生することができます。



Arlo SmartHub VMB4540、ならびに警報音機能付きベースステーションVMB4500およ びVMB4000の背面には、USBポートが1つまたは2つ含まれます。Arlo Essential屋内用 カメラをSmartHubまたはベースステーションとともに使用する場合は、この機能を使 用できます。



SmartHub VMB4540

VMB4500

VMB4000

USBストレージデバイスをUSBポートに接続し、Arloの録画をクラウドとUSBデバイス の両方に保存できます。

SmartHubまたは警報音機能付きベースステーションがインターネットに接続されて いない場合、録画は引き続きUSBストレージデバイスに保存されます。Pro 3カメラと SmartHubの間にアクティブなライブストリーミング接続を使用している場合は、USB ストレージデバイスに1080pで録画できます。Pro 3カメラからの2Kローカルライブス トリームの場合、SmartHubはUSBストレージデバイスが接続されていれば、そこに自 動的に録画します。

接続されているUSBストレージデバイスの保存スペースが不足しているかいっぱいにな っている場合は、Essential屋内用力メラから通知されます。

USBストレージデバイスのフォーマット

Smarthubは、ローカルストレージ用に次のファイル形式をサポートしています。

- FAT16
- FAT32
- ExFAT
- ext2FAT
- ext3FAT
- ext4FAT
- HFS+

USBドライブの最小サイズは16 GBで、これらのファイルシステムがサポートするド ライブの最大サイズは2 TBです。SmartHubは、USB 2.0対応デバイスをサポートして います。すべてのHDDがSmartHubに対応しているわけではありません。不明な場合 は、HDDの製造元にお問い合わせください。

USBストレージデバイスのステータスを表 示する

- 1. Essential屋内用カメラを起動します。
- 2. [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ] をタップします。
- 3. USBアイコン 🗒 の色を確認します。
 - **グレー**。USBデバイスが接続されていません。
 - **黒**。USBデバイスがSmartHubに接続されています。
 - オレンジ。SmartHubはUSBデバイスに録画しています。
- 4. USBデバイスのステータスの詳細を表示するには、[ローカルストレージ] で [ストレ ージ設定] をタップします。

[USBステータス] には [良好] と表示されるか、USBデバイスをフォーマットする必要があるか、いっぱいであるかが表示されます。このような場合は、Essential屋内 用カメラからも通知されます。

利用可能なUSBデバイスストレージの表示

USBデバイスがいっぱいになると、Essential屋内用カメラから通知されますが、使用可能なストレージを確認することもできます。

- 1. Essential屋内用カメラを起動します。
- [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ]>[ローカルに録画] をタップします。
 [使用可能なストレージ] フィールドには、USBデバイスで使用可能なストレージ容量が表示されます。

USB録画のオン/オフの切り替え

- 1. Essential屋内用カメラを起動します。
- 2. [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ]>[ローカルに録画] をタップします。
- 3. [USBデバイス録画] をタップします。

USBデバイスの上書き設定を変更する

デフォルトでは、USBストレージデバイスがいっぱいになると、最も古いArlo録画が消 去されて新しい録画用のスペースが確保されます。USBデバイス上のArloフォルダーに ないファイルは、Arlo録画用のスペースを確保するために削除されません。Arlo録画が 自動的に消去されないように設定を変更できます。

- 1. Essential屋内用カメラを起動します。
- 2. [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ] > [ローカルに録画] をタップします。
- 3. [自動的に上書き] をタップします。 上書き設定のオン/オフが切り替わります。

USBデバイスのフォーマット

USBストレージデバイスのフォーマットが必要な場合、Essential屋内用カメラに通知メ ッセージがポップアップ表示されます。SmartHubでUSBストレージデバイスをフォー マットできます。

警告:フォーマット中にUSBストレージデバイスを取り外さないでください。USBスト レージデバイスが永久に使用できなくなる可能性があります。

1. Essential屋内用カメラを起動します。

- [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ]>[ローカルに録画] をタップします。
 「フォーマットが必要」メッセージが表示された場合、USBストレージデバイスの フォーマット形式が正しくないため、ローカルストレージで使用する前にフォーマットする必要があります。
- 3. [USBデバイスのフォーマット] ボタンをタップします。
- 4. USBデバイスのステータスが [フォーマット中] から [使用可能] に変わるまで待ち ます。

USBストレージデバイスの安全な取り外し

USBデバイスをデータ書き込み中に取り外すと、USBデバイスが永久的に使用不可になる、または中のデータが破損する可能性があります。

- 1. Essential屋内用カメラを起動します。
- 2. [SmartHub/ベースステーション/ブリッジ]>[ローカルに録画] をタップします。
- 3. [USBストレージデバイスを安全に取り外す] をタップします。
- [USBストレージデバイスを取り外しています] 進行状況メッセージが閉じるのを待ちます。
- USBストレージデバイスをSmartHubから取り外します。
 警告:取り外し中というメッセージが表示されている間は、SmartHubの電源を切ったり、USBデバイスを取り外さないでください。
- USBアイコンが、USBデバイスが接続されていないことを示すグレー に変わります。
 別のUSBデバイスを接続するまで、USB録画は無効になります。

USBデバイスのビデオの表示

Essential屋内用カメラには、USBストレージデバイス内のビデオクリップは表示されませんが、Windows PCまたはMacを使用してこれらのクリップを見ることができます。

- USBストレージデバイスを安全に切り離します。
 詳細については、USBストレージデバイスの安全な取り外し(60ページ)を参照してください。
- 2. 取り外したUSBストレージデバイスをWindows PCまたはMacに接続します。
- PCの画面で、使用可能なドライブのリストにUSBストレージデバイスが表示された ら、ドライブのフォルダーを開いて、USBストレージデバイス内のファイルを表示 します。

4. Arloフォルダーを開きます。

録画したビデオはMP4形式で、映像ファイルは次の形式で命名されています: カメラ のシリアル番号_映像番号_日付_ビデオクリップタグ。日付の形式はYYYYMMDD(年月日)です。

メモ:お使いのPCでMP4形式ファイルが再生できない場合、メディアプレーヤーを最新バージョンにアップデートしてからやり直してみてください。

10. トラブルシューティング

セットアップ中にQRコードをスキャンする

セットアップ中、カメラを2.4 GHz Wi-Fiネットワークに追加するときは、Arlo Secureア プリからQRコードをスキャンする必要があります。QRコードをスキャンしてもチャイ ム音が鳴らない場合、QRコードは正常にスキャンされていません。

カメラがQRコードをスキャンしなかった場合は、次の操作を行ってください。

- モバイルデバイスでスクリーンプロテクターを使用している場合、QRコードスキャン中にはスクリーンプロテクターを取り外してください。
- モバイルデバイスをカメラレンズから遠ざけたり、カメラレンズに近づけたりします。
 モバイルデバイスをカメラレンズから約15 cm(6 インチ)離れたところに置いてか

ら、ゆっくりと近づけます。これでスキャンしない場合は、モバイルデバイスを離してみてください。または、角度を変えてお試しください。

- モバイルデバイスの画面を暗く、または明るくします。
 モバイルデバイスの画面が明るすぎる、または暗すぎるため、カメラでQRコードを スキャンできないことがあります。
- iOSデバイスを使用している場合は、「ダークモード」を無効にします。
 iOSの設定で下にスクロールして[画面表示と明るさ]を見つけて選択します。外観 モードのオプションで[ライト]モードを選択します。
- 明るさが均一の場所でQRコードをスキャンします。
 暗い場所や直射日光の下でQRコードをスキャンしないでください。夜間に設置する場合、玄関灯を点灯させてください。設置時にカメラが直射日光にさらされる場合は、日陰にしてください。
- タブレットやiPadなどの大きな画面のモバイルデバイスがある場合、これらを使ってみます。
- カメラレンズをクリーニングします。

カメラレンズに異物や汚れが付着していると、QRコードのスキャン機能が妨げられ る場合があります。糸くずの出ない布を使用して、QRコードのスキャンの妨げとな るものを取り除きます。

セットアップ中にArloでカメラが検出され ない

Arlo SmartHubまたはベースステーションを使用せずにArloカメラをセットアップして Wi-Fiルーターに直接接続しようとした際に、Arloでカメラが検出されない場合、問題 を発見および修正するために確認するべき点がいくつかあります。

Arlo Secureアプリを使用してカメラを追加する場合は、以下のことを確認してください。

- Arlo Secureアプリで [デバイスの追加] をタップしたら、[Arlo Essential屋内用カメ ラ] を選択します。
- Arloカメラとモバイルデバイスが同じ2.4 GHz Wi-Fiネットワークに接続していること。カメラは2.4 GHz帯にのみ接続でき、5 GHz帯には接続できません。詳細については、セットアップ中にモバイルデバイスを2.4 GHz Wi-Fiネットワークに接続する(13ページ)を参照してください。
- 正しいWi-FiネットワークSSID (ネットワーク名) とパスワードを入力していること。 ネットワークSSIDとパスワードは大文字と小文字が区別され、正確に入力している 必要があります。送信する前に、パスワードの目のアイコンをタップしてパスワー ドを表示できます。
- モバイルデバイスとArloカメラが、Wi-FiルーターのWi-Fi信号範囲内にあること。セットアップ中は、Wi-Fiルーターから3~4.5 m以内にカメラを設置することをお勧めします。カメラがセットアップされ、接続されたら、Wi-Fiルーターの範囲内で任意の場所にカメラを移動できます。詳細については、Wi-Fiパフォーマンスを最適化するためのヒント (12ページ) を参照してください。
- カメラのLEDを確認します。セットアップ中にSyncボタンを押すと、カメラの検出 中はLEDが2分間青く点滅し、Wi-Fiネットワークに接続されると高速で青く点滅し ます。カメラは、2分以内にWi-Fiネットワークに接続されない場合、タイムアウト し、LEDの点滅が停止します。カメラがタイムアウトした場合、もう一度Syncボタ ンを押してください。接続プロセス全体の間、LEDが青く点滅することを確認して ください。LED (8ページ)を参照してください。
- チャイム音が鳴ったこと (カメラがQRコードを正常にスキャンしたことを示します)。
 チャイム音が鳴らず、QRコードのスキャンについてサポートが必要な場合は、セットアップ中にQRコードをスキャンする (62ページ)を参照してください。

Arloジオフェンスのトラブルシューティング

メモ: [モード] > [すべてのデバイスを警戒モードにする] または [すべてのデバイスを 待機モードにする]を選択すると、ジオフェンスモードが無効になります。ジオフェン スモードを有効にするには、[モード] をタップし、Arloデバイスを選択して、[ジオフ ェンス] を選択します。 セットアップ環境は、各Arloユーザーによって異なります。ジオフェンスの最も一般的 な問題は次のとおりです。

- モバイルデバイスがArloと位置情報を共有していません。ジオフェンスを使用するためにモバイルデバイスを準備する (42ページ) を参照してください。
- ジオフェンスが有効になっているほかのモバイルデバイスがデバイスの場所のゾーン内にあるため、外出時に退席中モードがトリガーされません。複数のモバイルデバイスでジオフェンスを使用する (44ページ)を参照してください。
- モバイルデバイスの位置情報共有設定が変更されたため、ジオフェンスが動作を停止しました。ジオフェンスを使用するためにモバイルデバイスを準備する (42ページ) を参照してください。
- タスクキラーアプリが、Arloジオフェンスに干渉しています。ShutappやDozeなどのタスクキラーアプリが、Arloジオフェンスを無効にすることがあります。Arloジオフェンスを使用するには、Arlo Secureアプリの動作を抑制する他のアプリをすべて無効にしてください。
- 友人のArloアカウントで使用しているモバイルデバイスで、ジオフェンスが機能しません。

友人としてほかのユーザーのArloアカウントでモバイルデバイスを使用している場合、Arloアカウントの所有者が次の操作を行った場合にのみ [ホーム]/[退席中] モードが変更されます。

- [アクセス権の許可] 設定をオンにする。複数のモバイルデバイスでジオフェンスを 使用する (44ページ) を参照してください。
- ジオフェンスの設定で、あなたのデバイスを [有効なデバイス] として設定する。友人のモバイルデバイスのジオフェンスを有効または無効にする (45ページ)を参照してください。

引き続きジオフェンスの問題が改善されない場合Arloカスタマーサポートにお問い合わせください。

ブラウザーでビデオストリームを見ること ができない

Arloがデータを送信するポートをルーターがブロックしている場合があります。Arloの 接続を確実に維持するには、ルーターのポート443および80が常に開いている必要があ ります。

ビデオストリームの問題をトラブルシューティングするには、次のセクションの条件を 確認してください。Syncボタン (67ページ)、範囲外 (65ページ)

Wi-Fi信号の干渉

複数のWi-Fiネットワーク、Wi-Fiデバイス、または周波数がある環境では、信号の干渉が生じやすくなります。可能な場合、カメラを設置するエリアでは、ネットワーク、Wi-Fiデバイス、および送信周波数の数を最小限に抑えます。ルーターのチャンネルなど、Wi-Fi設定の調整方法については、ルーターに付属する説明書を確認するか、インターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせください (ISPがルーターを設置した場合)。

カメラをルーターまたはArlo SmartHubまたはベースステーション (使用する場合) から30 ~100 cm以上離して設置することをお勧めします。カメラ間の距離は2 m以上にして、 デバイス間のWi-Fi信号が互いに干渉しないようにしてください。

範囲外

カメラが強いWi-Fi信号を受信するのに十分な近さに設置されていることを確認してく ださい。ルーターのWi-Fi信号の範囲は、地域のルーターモデルや条件によって異なる 場合があります。

カメラを設置する予定のエリアで、カメラの信号強度表示が3~4本になっていること を確認してください。信号強度表示が1~2本でも動作しますが、電波干渉の影響で断 続的に電波が届かなくなる可能性があります。

プッシュ通知を受け取れない

スマートフォンまたはモバイルデバイスでArloアラートを受け取るには、Arlo Secureア プリにログインしている必要があります。Arloはログイン時にデバイスにプッシュ通知 を受信するよう登録します。単にアプリを終了するのではなく、ログアウトオプション を使用した場合、アプリに再度ログインする必要があります。Arloの通知は、モバイル デバイスがスリープ中でも着信します。

[警戒] モードのルールを確認する

モード内のルールを確認します。使用しているモードの [プッシュ通知] が有効になっていることを確認してください。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [モード] ボタンをタップします。
- カメラ、またはオプションのArlo SmartHubまたはベースステーション (使用している場合)を選択します。
 モードのリストが表示されます。

- 4. [警戒]の横にある [編集] 🖉 をタップします。
- 5. ルールの横にある[編集] 🖉 をタップします。
- 6. [アラート] で、**[プッシュ通知]** チェックボックスが選択されていることを確認し ます。
- 7. 変更した場合は、[保存]をタップします。

iOSデバイスでArlo Secureアプリの通知設定を確認する

Arlo Secureアプリにプッシュ通知の受け取りを許可していることを確認します。iOSまたはAndroidデバイスで、Arlo Secureアプリのプッシュ通知が無効になっていることがあります。

- 1. iOSデバイスの [設定] アイコンをタップします。
- 2. [通知] > [Arlo] をタップします。
- 3. [通知を許可] が選択されていることを確認します。

AndroidデバイスでArlo Secureアプリの通知設定を確認 する

Arlo Secureアプリにプッシュ通知の受け取りを許可していることを確認します。iOSまたはAndroidデバイスで、Arlo Secureアプリのプッシュ通知が無効になっていることがあります。

- 1. Androidデバイスの [設定] アイコンをタップします。
- 2. [アプリケーションマネージャー]>[Arlo] をタップします。
- 3. [通知を表示] 設定がオンになっていることを確認します。

インストール時にプッシュ通知を許可しなかった場合

アラートを受信するには、Arlo Secureアプリを初めてインストールする際、プッシュ 通知の送信を希望するかどうかの確認で[許可]を選択する必要があります。iOSアプリ の場合は、このアラートに応答すると、デバイスが工場出荷時の設定に復元されるか、 アプリがアンインストールされて1日以上経過しない限り、アラートが再度表示される ことはありません。 iOSデバイスで許可しなかった場合は、アプリをアンインストールし、1日待ってから、再インストールして、通知を許可してください。アプリを再インストールするまで1日待ちたくない場合は、デバイスのシステムクロックを使って1日をシミュレートできます。システムクロックを1日以上進めるように設定し、デバイスの電源をオフにしてから、オンに戻してください。アプリを再インストールした後は、システムクロックを正しい設定に戻してください。

カメラを工場出荷時の設定にリセットする

カメラをリセットすると、工場出荷時の設定に戻ります。そのため、工場出荷時の状態 にリセットした後にカメラを使用するには、Arlo Secureアプリのセットアップ手順に 従う必要があります。工場出荷時の状態にリセットした後もカメラはArlo Secureアプ リに表示されますが、無効になっています。

カメラをリセットするには、カメラの電源が入っている状態で**Sync**ボタンを約15秒間 押し続け、カメラのLEDが青色に点滅し始めたら離します。



メモ: カメラがオンラインの場合は、Arlo Secureアプ リから工場出荷時の設定にリセットすることもできま す。[デバイス設定] > [デバイスの削除] をタップしま す。これには、カメラがオンラインである必要があり ます。

11. Arlo Connect

Amazon AlexaでArloを使用する

Arlo SkillとAlexaを使用すると、音声による指示 (ボイスコマンド) でArloデバイスにアク セスし、ライブカメラフィードをEcho Show、Fire TVやFireタブレットで表示できるよ うになります。AlexaはArloカメラで動作が検知されたときに通知することもできます。

Arlo Skillを使用するには、接続されたカメラと次のいずれかのAmazonデバイスが必要です。

- Echo Show
- Echo Spot
- Echo Dot
- Echo、Echo Plus
- Fireタブレット (第7世代以降)
- Fire TV (全世代)
- Fire TV Stick (第2世代のみ)
- ・ Fire TV EditionスマートTV

Arlo Skillを有効にする

カメラの電源が入っていて、クラウドに接続していることを確認します。

次のいずれかの方法でArlo Skillを有効にします。

- Amazon Alexaに「Alexa、Arlo Skillを有効にして」と話します。そして、Alexaアプリに表示される指示に従い、ArloアカウントとAlexaアカウントをリンクさせます。
- AlexaアプリでArlo Skillを検索し、[Skillを有効にする]を選択して、Arloアカウント とAlexaアカウントをリンクさせます。

Arlo Skillを使用する

Arlo Alexa Skillが有効になると、次のコマンドを使うことができます。

- 「Alexa、[カメラ名] を表示して。」カメラのライブストリーミングが開始します。
- 「Alexa、停止して。」アクティビティを停止し、デバイスのホーム画面に戻ります。
- 「Alexa、[カメラ名]を非表示にして。」カメラのストリーミングを停止し、デバイスのホーム画面に戻ります。
- 「Alexa、ホームに戻って。」デバイスのホーム画面に戻ります。
- 「Alexa、[カメラ名] で検知した最後の動作を表示して。」 このコマンドを使用するには、Arloサブスクリプションにカメラの過去のビデオク リップの表示が含まれている必要があります。

カメラが動作を検知したときに通知するようにAlexaを設 定する

次のいずれかの方法を使用できます。

- Alexaアプリのスマートホームセクションで、Arloカメラのアナウンスをオンにします。
- AlexaアプリのメインメニューからAlexaのルーチンを作成します。

ArloをAppleのホーム Appに追加する

最適に操作するには、ArloアカウントにArloデバイスを追加してから、Appleのホーム Appに追加します。Appleのホーム AppにSmartHubを追加すると、SmartHubとペアリン グされているすべてのArloデバイスがAppleのホーム Appで使用できるようになります。

Arlo SmartHubをホーム Appに追加する方法は2つありますが、使用する方法は SmartHubにHomeKitステッカーが付いているかどうかによって異なります。

HomeKitステッカー付きのSmartHubをホーム Appに追加 する

1. HomeKitセットアップコードを確認します。

このコードは、Arlo SmartHubの背面または底面に貼付されたステッカーに記載されています。



HomeKitセットアップコードの例

- 2. Appleのホーム Appを起動します。
- [ホーム] タブのページ上部にある [+] 記号をタップしてから、[アクセサリを追加] をタップします。
 Appleモバイルデバイスのカメラが起動し、HomeKitセットアップコードのスキャンまたは入力を求めるプロンプトが表示されます。
- モバイルデバイスのカメラを使って、HomeKitセットアップコードをスキャンします。
 コードのスキャンに関して問題がある場合は、[コードがない、またはスキャンできない場合]をタップし、その後コードを入力してください。
- 5. 右上の**[完了]**をタップします。 SmartHubを追加すると、SmartHubとペアリングされているすべてのArloデバイス がHomeKitで利用できるようになります。 ライブビデオを見る場合、カメラのスクリーンショットをタップします。

HomeKitステッカーのないSmartHubをホーム Appに追加 する

SmartHubにHomeKitセットアップコードのステッカーが貼付されていない場合は、次 の方法を使用します。

メモ: SmartHubにHomeKitセットアップコードがある場合、この方法は機能しません。

SmartHubを追加するには次の手順に従ってください。

- 1. Arlo Secureアプリを起動します。
- 2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
- 3. SmartHubをタップします。
- 4. **[HomeKit]** をタップします。
- 5. ホームを選択するか、[新しいホームの追加]をタップします。
- 6. 部屋を選択するか [新しい部屋の追加] をタップします。
- 7. [続行] をタップして、HomeKitにカメラまたはその他のデバイスを追加します。 SmartHubを追加すると、SmartHubとペアリングされているすべてのArloデバイス がHomeKitで利用できるようになります。

8. 画面に表示される手順に従って、各デバイスに名前を付けます。

メモ: 各デバイスに付けた名前はSiriのコマンドに使用されます。覚えやすく発音しやすい一意の名前にしてください。

9. デバイスのセットアップを完了して、[完了] をタップします。

カメラをGoogleアシスタントアプリに接続 する

カメラをGoogleアシスタントで使用するには、次のものが必要です。

- Google Home Hub、Chromecastデバイス、Chromecast搭載のTV、Chromecast搭 載のメディアプレーヤーのいずれか。
- モバイルデバイスのGoogleアシスタントアプリ。このアプリは、ほとんどの Androidデバイスにインストールされています。iOSデバイスでは、Apple App Store からアプリをダウンロードすることができます。

ArloカメラをGoogleアシスタントアプリに接続するには、次の手順に従います。

- 1. Googleアシスタントで音声対応スピーカーを使用する場合は、そのデバイスの設定 を行ってください。
- 2. ホームページでGoogleアシスタントアプリを開きます。
- 3. +アイコンをタップします。
- 4. [デバイスの設定] > [すでに設定済みのデバイスがありますか?] をタップします。
- デバイスオプションの一覧から、Arloアイコンを選択します。
 Arloを検索するか、デバイスの一覧を下にスクロールしてArloを探すことができます。
- Arloアカウントでサインインします。 カメラがGoogleアシスタントに追加されます。
- 7. カメラをテストするには、「OK Google、[Googleデバイスの名前] で [カメラが設置 された部屋の名前] を表示して」と話します。
- 8. ストリーミングを終了するには、「OK Google、[Chromecastデバイスの名前]を停止して」と話します。

詳細については、「Googleアシスタントのヘルプ:スマートホームデバイスを操作する」を参照してください。

IFTTTでArloを使用する

スマートホームデバイスとアプリケーションを接続する無料のクラウドベースサービス、IFTTT (If This Then That) で、Arlo Secureアプリを使用できます。

IFTTTアプリにArloを追加するには、ifttt.com/arloを参照してください。

ArloとIFTTTの詳細については、arlo.com/communityを参照してください。
サポート

製品のアップデートおよびウェブサポートについては、 http://www.arlo.com/en-us/support/を参照してください。

Arlo Technologies, Inc. 2200 Faraday Ave.Suite 150 Carlsbad, CA 92008 USA

ドキュメント発行日: 2022年4月 PN 202-50041-01

商標

© Arlo Technologies, Inc. Arlo、Arloロゴ、およびEvery Angle CoveredはArlo Technologies, Inc.の商標です。Appleは米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。Google Playおよび Google PlayロゴはGoogle LLCの商標です。その他の商標は参照目的のために記載され ています。

適合性

規制表示は、ユニットの下部に表示されています。

EU適合宣言書などの法規制遵守情報については、 http://www.arlo.com/about/regulatory/を参照してください。

本製品をお使いになる前に、各種規格との適合に関する文書をご覧ください。

FCC ID: 2APLE18300406 IC: 23815-18300406 CAN ICES-003(B)/NMB-003(B)

連邦通信委員会の干渉に関する声明:

この製品は既に FCC 規定第 15 項の Class B デジタル装置としてのテストを受け、その 条件を満たしています。これらの規制は、住宅地区における使用に際し、有害な干渉を 防ぐために設定されています。本製品はラジオ周波数を発生、使用、放射しますので、 マニュアル通り正しくインストールされていない場合は有害なラジオ妨害を招く恐れが あります。ただし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありま せん。本製品がラジオもしくはテレビ受信に対して妨害を招き、電源を入れたり切った りすることで、本製品が原因であることが明らかである場合は、以下の要領で妨害の修 正を試みて下さい。

• 受信アンテナの方向を変える、または設置しなおす。

- 本製品と受信機の間隔を広げる。
- 本製品を、受信機が接続されているものとは別の電源に接続し直す。
- ラジオまたはテレビの販売店または技師に相談する。

本機は FCC 規定第 15 項に準拠しています。本機の操作は次の対象となります。(1)本機は有害な干渉を引き起こしてはなりません。(2)本機は、予期せぬ動作を引き起こす可能性のあるものを含め、すべての干渉を受信しなければなりません。

弊社の代表により明示的に承認されていない本機への変更や修正を行うと、本機を使用 する権限が無効になる場合があります。

RF被曝に関する声明

本機は他のアンテナや転送装置と一緒に設置したり、操作したりしないでください。

本機は、規制のない環境下に対し設定されたFCC RF被曝制限を満たしています。本機 は放熱体やご自身の身体、または付近にいる人から20 cm以上離れた場所に設置して操 作してください。